

# 映画『友よ! 大重潤一郎 魂の旅』を観る会 20年前に体感した 「ユートピア」を、もう一度!

私たちは、阪神・淡路大震災の1995年1月17日、「人間にとって良かった!」  
「自分一人では生きていけない」「支え合いは自立から」と五感で感じ取った。  
「あの日」から20年、そして東日本大震災から4年。  
いま、ここに、この映画が上映されることになったのは、決して偶然ではない!



大重 潤一郎

# 友よ! 大重潤一郎 魂の旅

我発見セリ:  
優れたインタビューもまた  
スリリングな映画である

構成・編集者 四宮鉄男

## 四宮 鉄男 Profile

1965年、土本典昭氏に師事し、「留学生チュア・スイ・リン」の製作に参加する。1969年、岩波映画製作所にて、企業PR映画「カラーの眼」を初演出し、以降フリーランスの記録映像構成者として、企業PR映画や政府広報映画、ビデオマガジン『サクセスロード』、ドキュメンタリー作品などの映像製作に携わる。監督や映像作家ではなく「映像職人」或いは「映像よろず引受人」を自称している。1960年代の終わりがろ岩波映画製作所で大重潤一郎さんと出会う。

日時: 2015年1月14日(水)・1月15日(木)  
場所: 神戸アートビレッジセンター(KAVC)  
時間: 両日とも、午前10時30分開場 午前10時50分上映  
入場料: 1,000円

# 友よ！大重潤一郎魂の旅

いま、まじまじと、めっくりと船出した大重潤一郎の魂の旅に、私たちも同道を…友よ！

大重 潤一郎 監督作品より



『光りの島』演出中の大重監督



『風の島』撮影中の大重監督



映画『縄文』より



映画『ビッグマウンテンへの道』より



映画『原郷ニライカナイへ  
—比嘉康雄の魂—』より

## 大重 潤一郎 Profile

映画監督・沖縄映像文化研究所所長。山本薩夫監督の助監督見習いを経て、1970年『黒神』にて監督第一作。以降、自然や伝統文化をテーマとし、現在は2002年から12年の歳月をかけ、沖縄県久高島の暮らしと祭祀の記録映画『久高オデッセイ』全三部を制作中。2015年夏完成予定。

### [連絡先]

被災地 NGO 協働センター  
〒652-0801  
神戸市兵庫区中道通 2-1-10  
TEL:078-574-0701  
FAX:078-574-0702  
E-mail:info@ngo-kyodo.org  
(担当：村井・細川)

映画『友よ！大重潤一郎魂の旅』を観る会 代表 村井雅清(被災地 NGO 協働センター) [以下 50 音順 敬称略] 鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター教授)、島田誠(ギャラリー島田)、高尾具成(毎日新聞・記者)、坪谷令子(画家)、中島淳(神戸芝居カーニバル実行委員会)、西島陽子、灰谷政之(太陽の子保育園園長)、真喜志好一(建築家・沖縄平和市民連絡会世話人)、松本誠(市民まちづくり研究所)、宮本佳明(建築家・大阪市大教授)、門前喜康(サンテレビジョン・取締役)、米川綾子(兵庫県子ども文化振興協会)、しみん基金 KOBE

## 長編記録映画

『友よ！大重潤一郎魂の旅』(2014年春完成 109分)  
構成・編集／四宮 鉄男 撮影／森田 恵子

20年前の1995年、沖縄の無人島を舞台にした映画『光りの島』が誕生した。大重潤一郎は五感で自然と向き合い、生と死の間を彷徨いながら、いのちを描き続け、翌1996年には『風の島』を完成させた。そして2作品の上映は沖縄と神戸から始まった。

それから5年、大重潤一郎は『縄文』『ビッグマウンテンへの道』『原郷ニライカナイへ—比嘉康雄の魂—』を世に出した。この三作に共通するテーマについて大重は、「人類が定住農耕と牧畜を契機に踏み出した制度社会以前の自然と一体となった営みの原点を気づかせられる」と語る。

「あの日」から16年、大地の怒りはおさまらず2011年、三陸地方から千葉県沿岸まで大地震と大津波が襲い、多くの人、暮らし、自然が破壊された。ある村の長老は、津波を被った光景を見て、「昔はこうだった。この下には田んぼがあったんだ！」と浦や潟が蘇えったかのように表現した。それは縄文の再生ではないのか？

大重潤一郎は、10年前の脳梗塞の後遺症「視床痛」に耐えながら、肝臓癌の手術を17回も受けて来た。この「視床痛」は耐え難い激痛という。「よく痛みに耐えてきた。癌の治療を止めたらやがて死ぬ。でも、もう手術は受けない」「痛いけど笑うことはできるんだよ」と親しい友人に語りかけ、沖縄で「魂の旅」への旅支度を始めた。

私たちは、祈ることしかできないのかもしれない、「生きて！」と。

太古の昔からチベットの源流をも抱きかかえて来た地・スندانランドとサフルランドを「魂の旅」の出发点とし、サツバ船に揺られながらインドネシアや沖縄へ。縄文の風に吹かれて、やがて日本列島全体を登っていく…映画の中で、そんな旅の道筋が、深まる想いととも語りられる。

上映場所：神戸アートビレッジセンター(KAVC)  
神戸市兵庫区新開地5丁目3番14号  
TEL078-512-5500

上映日時：2015年1月14日(水)・15日(木)  
上映時間：両日とも、午前10時30分開場  
午前10時50分上映

入場料：1,000円



神戸高速「新開地駅」東8番出口より 徒歩約5分  
JR「神戸駅」北出口より 徒歩約10分  
神戸市営地下鉄「湊川公園駅」より 徒歩約15分